

中等  
女子音樂教科書

教師用



榮橋吉 共編  
內藤俊二

大阪開成館版



變口長調練習曲

變口長調練習曲、春を惜む

Musical score for 'Spring is Precious' (春を惜む). It consists of a vocal line and a piano accompaniment. The key signature has one flat (B-flat), and the time signature is 4/4. The score is marked with a mezzo-forte (mf) dynamic. The piano part features a steady eighth-note accompaniment in the right hand and a more active bass line in the left hand.

春を惜む

犬童 球 溪

一、み山の櫻野べの霞  
 今はやいづこあともとめず  
 うち見るはては緑染めて  
 名残も見えぬ春の姿  
 なごりも見えぬ春のすがた。

二、歌ひし小鳥群れし胡蝶  
 翼も破れ聲も老いぬ  
 照る陽光に酔ひし夢はさめて  
 さてしも惜む春の名ごり  
 さてしも惜む春の名ごり。

【大意】

一 深山に咲いて  
 いた櫻も野邊に  
 かまつていた霞  
 も、今はもうあ  
 とかたならなく見  
 渡すかざり若葉  
 の緑に染められ  
 て初夏の装に代  
 つた。何處にも  
 春の姿の名残さ  
 へも見えなくな  
 った。

二 小鳥の歌ふ聲  
 も老いて来た。  
 群れ遊んでいた  
 胡蝶の翼も破れ  
 て飛ぶ影も數少  
 になつた。嘗  
 ては照る春光に  
 酔うて歌つたり  
 舞つたりしてあ  
 たのだが、今は  
 其の喜びの夢も  
 さめて偏に逝く  
 春の名残を惜し  
 んでゐる。

Musical score for 'Spring is Precious' (春を惜む) with lyrics. It includes a vocal line with lyrics in Japanese and a piano accompaniment. The key signature has one flat (B-flat), and the time signature is 4/4. The score is marked with a mezzo-forte (mf) dynamic. The piano part features a steady eighth-note accompaniment in the right hand and a more active bass line in the left hand. The lyrics are: 暁よいまこそ一わきたらぬのぞみのひかり、ヤアシタゾよの、いまこそ一キエシハ、カダアケノホーシナリユクホノカノミソラ、いろあけのはしかげなしはるかのみそら。

# 春を惜む

Allegretto.

ドイツ歌曲

春を惜む

1. ミヤ マノーサク ラノベ ノカースミ - イマ ハヤ イ  
2. うた ひしーこど りむれ しこーてふー - つば さも や

ツ コ ア ト - モ ト - メ ズ - ク チ ミ ル ハ タ ハ ミ  
ぶ れ こ ゑ - も お - い ぬ - て る ひ に ゑ ひ し ゆ

ド リ ソ - メ テ - ナ ゴ リ モ - ミ エ ス ハ ル ノ ス - ガ  
め は さ - め て - さ て し も - を し む は る の な - ご

タ - ナ ゴ リ モ - ミ エ ス ハ ル - ノ ス ガ タ -  
り - さ て し も - を し む は る - の な ご り

三二 (生徒用二七)

郭公

## 郭公

河井 醉 茗

(ソプラノ) 若葉吹く風の色 露にかゞやく朝  
(合唱) 耳に入る聲よ あ たしか 鳥のなく音  
(ソプラノ) 一聲啼くいづちにか聲は遠く近く  
(メゾソプラノ) それと知るほとゝぎす  
(合唱) ほとゝぎす空のいづこ  
(メゾソプラノ) 夏も深き木の下開 見れど見えぬ彼方  
(合唱) 啼き啼き飛びながら行方遙かに  
(ソプラノ) 一聲啼くいづちにか聲は遠く近く  
(メゾソプラノ) それと知るほとゝぎす  
(合唱) ほとゝぎす空のいづこ  
(アルト) 黎明<sup>よみけ</sup>近き有明月 隙間もる影も互ゆ  
(合唱) 現か夢かも 分たぬ境  
(ソプラノ) 一聲啼くいづちにか聲は遠く近く  
(メゾソプラノ) それと知るほとゝぎす  
(合唱) ほとゝぎす空のいづこ

### 【大意】

一 若葉の緑の色に風が動いてゐる。何か聞える、たしかに鳥の聲だ。何處かで聞える、遠くにも近くにも。あゝ分つた、ほととぎすだ。空の何處をとんでゐるのだらう。

二 夏だ。樹が暗いまでに茂つてゐる。何處かで鳥が鳴く。空を見るが姿は見えずに聲だけが啼き、行方遙かに行く。又何處かで遠くにも近くにも鳥の聲が聞える。あゝ分つた。時鳥だ。空の何處を飛んでゐるのだらう。

三 黎明も近づいた。空には有明月がかつてゐる。それが樹の間からもれて透え、とかかつてゐる。うすぼんやりした明方なので景色も氣持も夢か現か分らぬ。何處かで鳥が啼く。遠くにも近くにも啼く。あゝ分つた時鳥だ。空の何處で鳴いてゐるのだらう。

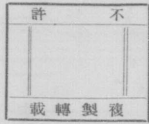
### 【語釋】

一 聲啼く……  
二 聲啼くとあるから一羽かと思はれるが、遠く近くとあるから幾羽もあるやうである。一聲が遠くから近づいて来るとも解されるし、一聲づつ、遠くでも近くでも啼いてるやうでもある。然し茲では後者の意としておく。

三二 (生徒用三二・三三)

K231J

昭和八年六月廿五日印刷  
昭和八年七月一日發行



發賣所

中等女子音樂教科書教師用卷之四  
定價金壹圓五拾錢

編纂者 內藤 俊二

印刷者兼  
者 三木 佐助

發行所  
合名會社 大阪、開成館

大阪市東區北久寶寺町心齋橋筋角

三木 樂器店

振替口座大阪七九番

東京市日本橋區吳服橋二丁目五

林平 書店

振替口座東京三七一番